

水圧テストの流れ

配管完了時のテスト

※配管完了時に必ずテストを行う

タイミング UB設置後すぐ

テスト前の確認事項

- ・ワンタッチ継手・HI継手の入り代の確認
- ・洗濯用配管も座付き水栓エルボを付けて、プラグを打った状態にする。
- ・UB貫通金具は、キスプラグではなく図①のようなプラグを使用する。
- ・給湯管にも圧を張りたいので、キッチンや洗面で配管をループさせる。
電気温水器やエコキュートの場合は、MBの立上げ部分でループさせる。
- ・4フロア一分、テスト治具を用意

UB貫通金具



テスト手順

加圧する2日前に、ヴェルデまで連絡

空気にて15kgf/cm²で圧張り

圧が下がらないことをヴェルデにて確認

※ その後10kgf/cm²に下げて、造作工事完了まで放置 ※



※造作工事中に、釘などで配管に穴が空いてもすぐにわかるように、圧は張ったままにしておく。

器具取付後のテスト

※器具取付後に必ずテストを行う

タイミング 器具取付後すぐ

テスト前の確認事項

- ・UB・キッチン・洗面の点検口が開いているか確認
- ・3フロア一分、継足管を用意(ヴェルデにて)
- ・給湯系統にも圧を掛け、確実にテスト出来るように
電気温水器・エコキュートは配管をループさせたままにしておく

テスト手順

※ 止水栓を全て開ける ※

目的

事故のほとんどがフレキの繋ぎ目部分からの水漏れであり、
通水テスト中→お湯出し中→引渡後にも水がにじんでくる為、
器具とフレキの繋ぎ目部分のテストを行う

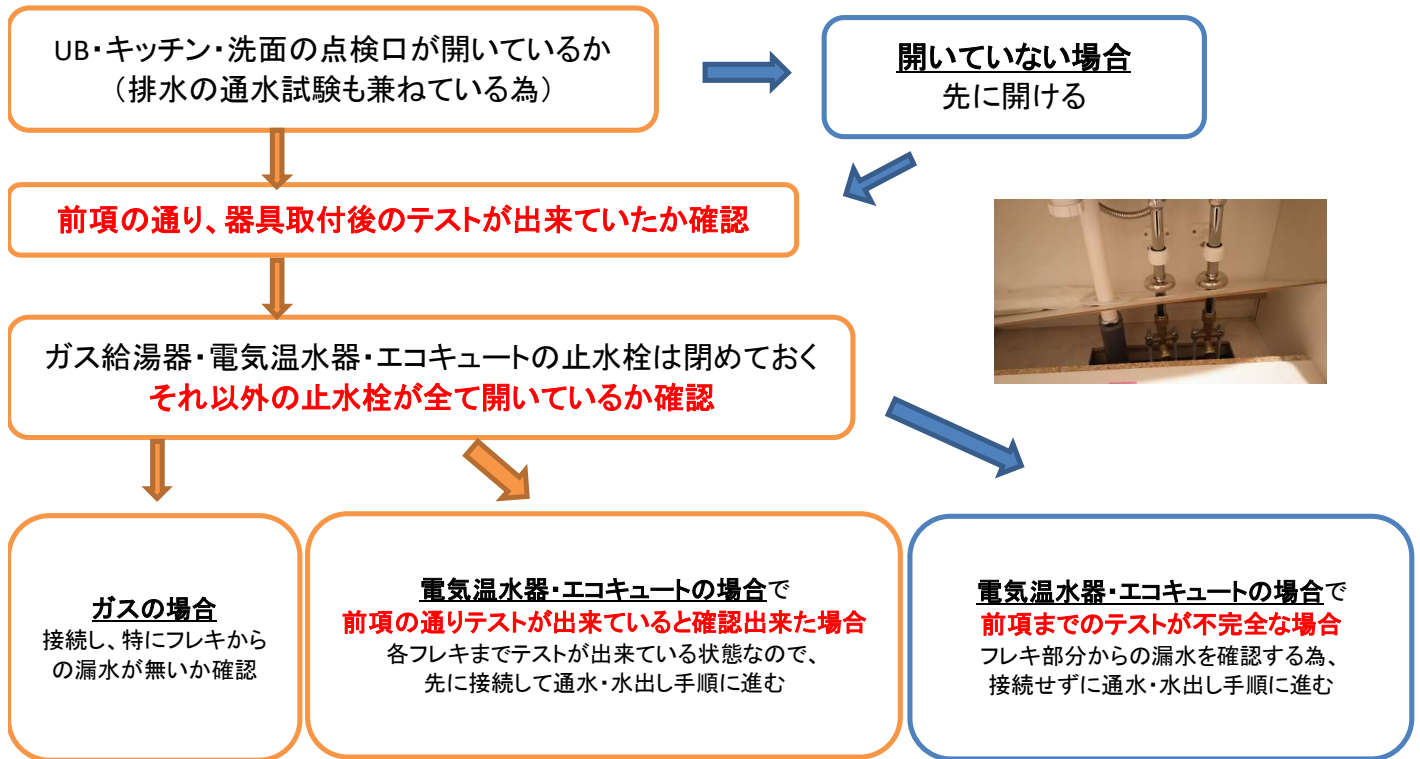
水圧で10kgf/cm²にて放置



- ※現場によって難しい場合は、空気で5kgf/cm²にて放置
便器のロータンクに、水を貯めて圧を掛けることが出来れば尚良い(空気でも可)
もしくはボールタップをテープで上にとめる
- ※現場によって難しい場合は、便器のロータンクのみ止水を閉めてでも良い
(但し、今後の課題として、テスト時エア抜き出来ないから圧は下がる)

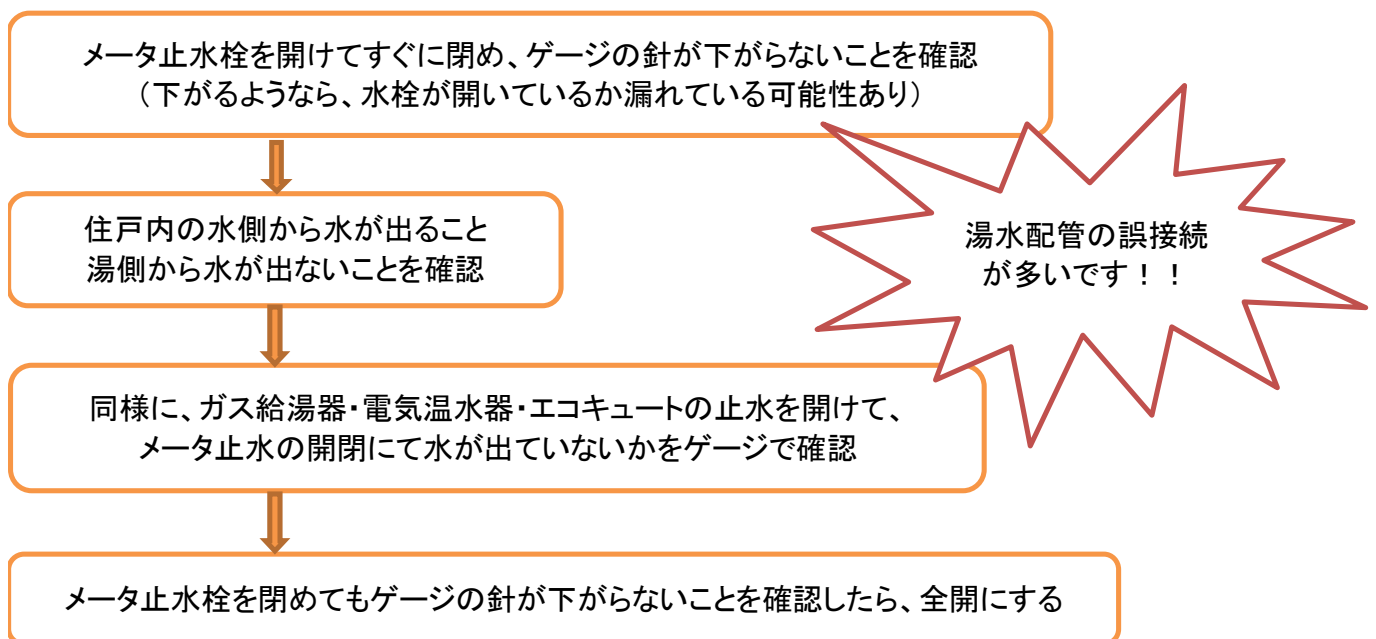
タイミング 完成間近・ブースターポンプ接続後

通水前の確認事項



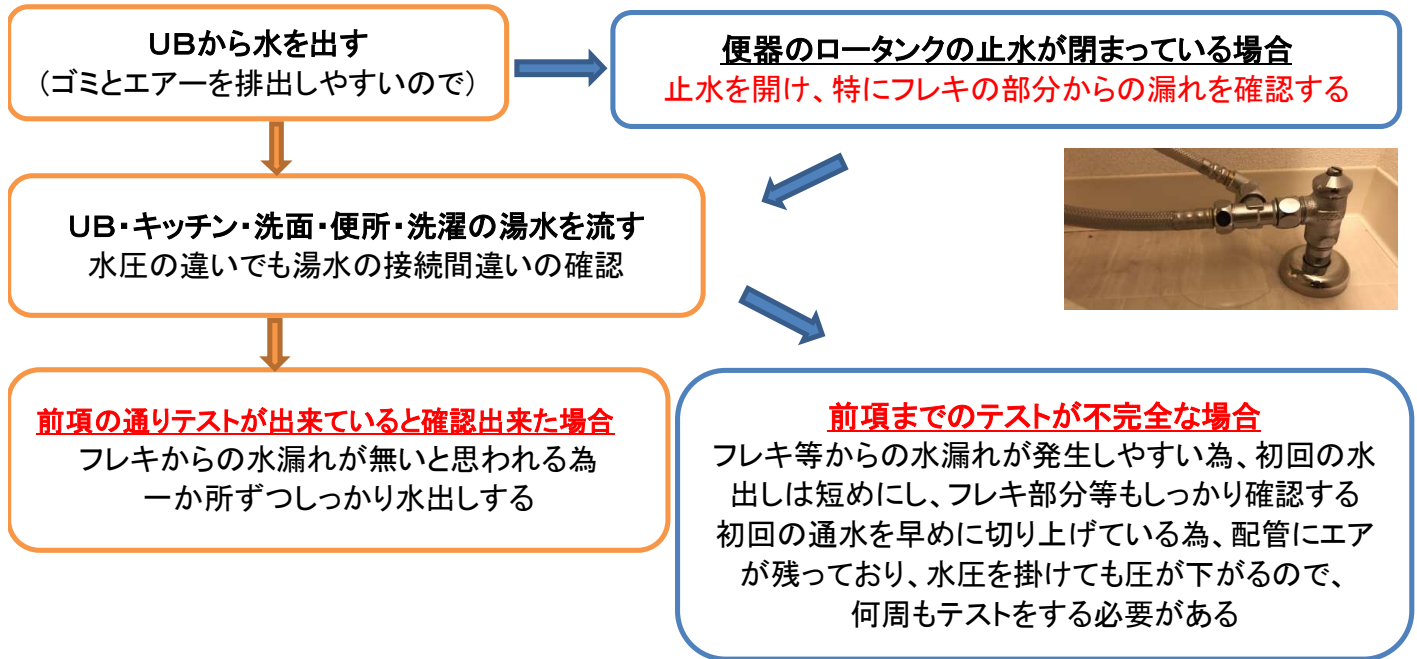
通水・水出し手順

メーター止水の開栓

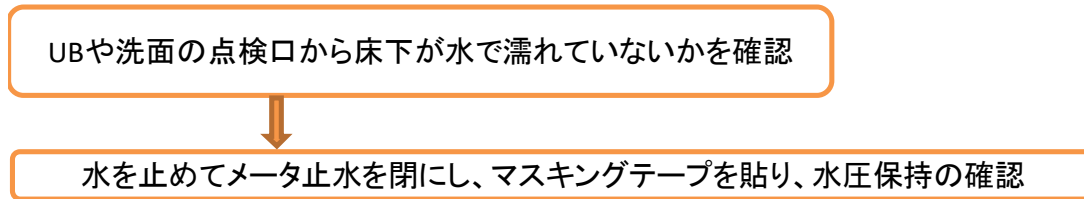




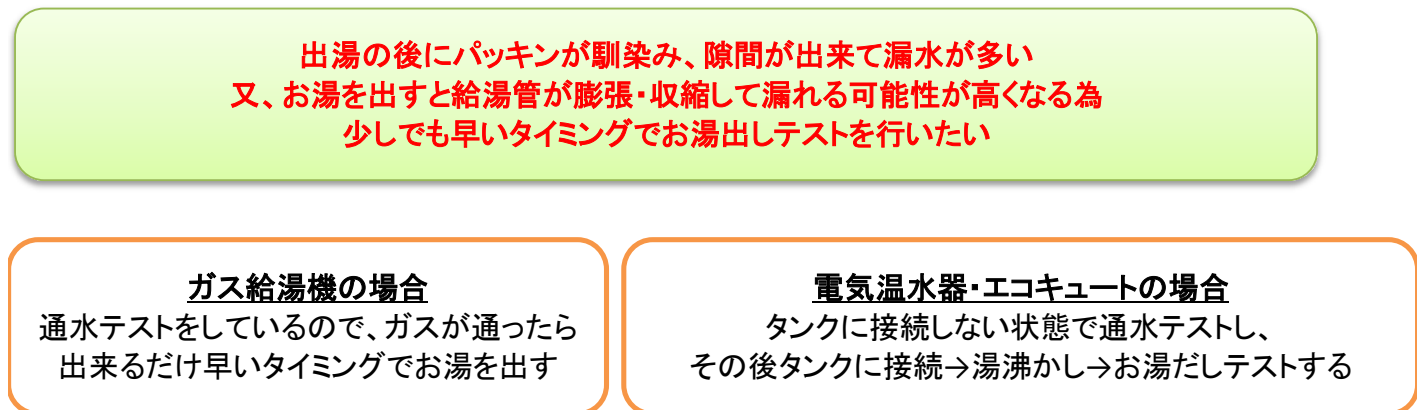
住戸内通水・水出し



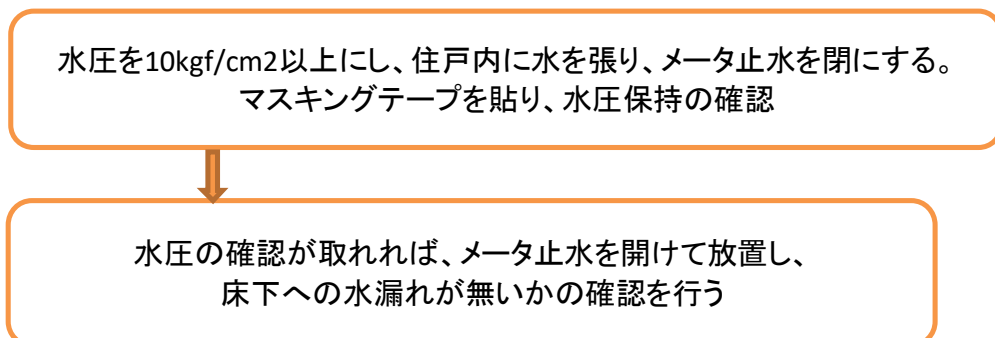
通水・水出し後



湯を沸かすタイミング



最後に



器具付け等の確認



株式会社ヴェルデ

洗濯パン

- ・排水口の蓋は外して、トラップがしっかり固定されているか確認
- ・排水口の蓋は横に置いておく
- ・洗濯機水栓のがたつきが無い確認



便器

- ・ウォシュレットの整線は、器具を取付時に同時に行う
- ・ウォシュレットの通水を行う



各水栓

- ・接続部分の確認
- ・各止水栓等の貫通部分のシーリングプレートが在るか、割れなどは無いか

換気

- ・浴室暖房乾燥機・レンジフードファン(又は換気扇)を強運転
- ・バルコニーの窓を開け、便所・洗面の副吸込口に紙を貼り付け吸っているか確認(給気が無いと排気量も少ない為)
- ・外壁側でキッチン・UBそれぞれのベントキャップから排気されているか、手や道具で確認
- ・風量の確認
- ・UB天井内、フレキにへこみは無いか・アルミテープの押さえ・ゴミやほこりは無いか、未使用の青色インサートが無いか等確認

※ゼネコン竣工検査

- ・減圧弁が設定された状態・電気温水器の場合は湯を沸かし、ドレンの確認

※ゼネコン検査完了後

- ・減圧弁を解除し、水圧の高い状態にてさらに放置し、床下の点検を行う(通水時間が短かった場合)

※引渡し前

- ・減圧弁を設定する
- ・前項のテストが確実に行われている場合は、施主検査前にメータを取り付ける
- ・日程が短く、充分で無い場合は、施主に了解を得た上で水圧テストを続ける

器具取付後の水圧テストまで正確に行っていただけの場合
通水テスト時に水漏れが極端に少ないと思われるので
通水・水出しはヴェルデで行います

器具取付後迄のテストが不完全な場合
工事完了まで通水・漏水チェックを全て行って下さい
その後、ヴェルデにて検査します

職人・ヴェルデ共に、施工に責任を持ちます
最後には、ヴェルデで確認をします